

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人共友会	代表者	岩尾 貢	法人・事業所の特徴	当ホームは古民家を改修した、懐かしい木の温もりを感じさせるともアットホームな事業所である。また、はしたての事業所がある「橋立町」は町民同士のつながりが強くご近所との付き合いもある所である。地域住民の方に事業所を理解して頂く為にも地域の行事にも参加している。登録利用者様に対しては関わりを大切にしながら信頼関係が築けるように常にスタッフが意識しながら関わっている。地域の中で暮らす1人暮らしや日中ご家族が留守の為、1人で過ごされている方に、お弁当を宅配しており、見守りを兼ねた支援をしている。
事業所名	小規模多機能ホーム はしたて	ホーム長	田中 直也		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	2人	人	3人	人	1人	1人	1人	3人	人	11人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	<ul style="list-style-type: none"> <li>今後も、日々の様子や行事の様子、活動等を映像化し地域の方へ取り組みなどの紹介を行っている。</li> <li>今後も改善計画について計画的に実行可能なものから取り組んでいく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>運営推進会議にて日々の様子や行事の際に撮影した写真の映像を流し、普段の様子や活動を報告した。</li> <li>出来ていない点について職員の意見を聞きながら出来る事から実行した。</li> <li>実践できることに対して、職員間で話し合いながら係を決めた。係を中心にスタッフ会議の場を通して計画をスタッフ全員で検討した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>出来る所は確実にいき、少しずつ取り組んでいったら良いと思う。</li> <li>出来ていないところは、なんでできないのかをきっちり取り上げ一つずつ解決に繋げていけば良いのでは。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域の方に事業所の理念と活動内容を知って頂くために運営推進会議などで写真や映像で報告を行う。</li> <li>スタッフの出来てる項目、出来ていない項目については事業所全体で出来ていない項目を明確にし職員一人一人が取り組んでいく。</li> </ul>
B. 事業所のしつらえ・環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域の方との交流が今後も図れるように、行事等の案内をしていく。今ある行事を継続し、利用者やご家族、地域の方の声を聴きながらより一層意味のあるものにしていく。</li> <li>インターホンについては来客の方が分かりやすい様に案内板を設置するなど、工夫をする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域の方と交流が図れるような行事の開催や、おでん会、手芸サークルを継続している。</li> <li>掲示板を見やすくすっきりとし、元々の古民家風を活かした居心地よい模様替えを行った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>日頃から介護などについての縁がないとなかなか入りづらいというか、敷居が高いというか。</li> <li>はしたては古民家的で家庭的な雰囲気がありスタッフも良いですし一緒に食事もしたりして施設というイメージがないのが良いと思います。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>日頃から地域の方との交流が図れるようにイベント時など地域との交流が図れるような雰囲気や馴染めるお言葉がけを行う。</li> <li>気軽に事業所に来て頂けるような工夫やアイデアを出していく。</li> </ul>

<p>C. 事業所と地域のかかわり</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の方と顔なじみの関係になれるように今後も地域の行事に進んで参加する。</li> <li>・行事の案内等は、行事の内容によって地域の方にも参加して頂けるように有線の活用、ポスティング、出向く等してお知らせしていく。</li> <li>・橋立町の広報に行事の案内を記載出来ないか、相談してみる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・訪問で地域に出向いた際は、スタッフの方からすすんで挨拶するように心がけた。</li> <li>・橋立町元気クラブには月に1回の参加を行った。</li> <li>・イベントや暦の行事などは、長寿会、子供会、学童等にお声かけをしてお知らせしチラシをお配りした。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・挨拶はスタッフの方から元気よくされています。スタッフには家族のように馴染みやすく、余計なことまで言うてしまうくらいです。</li> <li>・また、挨拶は、地域のものは、観光客にも挨拶をしている。道に迷っている方がおいでたら一言声をかけてほしい。</li> <li>・実際に孤独死問題もあるから、こと地域全体が考えて行かなかんと思っている。</li> <li>・去年はまだはしたてのことをご存知ない方もおいででしたが、今は皆さんご存知です。</li> <li>・困ったことなど相談し易い場所になっています。</li> <li>・地域の方のイベントについては参加が少し減っている。マンネリ化や魅力の減少なども考えられる。</li> <li>・地域にお知らせする方法として、ポスティングや有線放送を利用すればよい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・挨拶はこちらから笑顔で元気よくお声をかけることは継続していく。</li> <li>・行事等の地域の方の参加については、魅力あるイベント内容や相談し易いスタッフの関わりを考えて行く。</li> <li>・地域の方にイベント内容等のご希望やアイデア、工夫などのご意見を頂く。</li> </ul>
<p>D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・サロンやサークルに利用者の方と一緒に出向き、馴染みのある方々との関係を繋いで行く。</li> <li>・利用者以外の心配な方については、個人情報等の問題もあるので慎重に行わなければいけない。気になる人の把握について、民生委員や他事業所も含めて話し合いが出来る様にする機会を持つ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域で行われるイベントには利用者の方と一緒に出掛ける事ができた。また、地域の方からイベントの声かけをして頂く事もあり、利用者の方もスタッフも地域に出向く機会が増えた。</li> <li>・はしたての広報も毎月、職員が意識をして目を通すことができた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・この項目については、わからないと回答した。</li> <li>・この項目は、地域のものが事業所に常時いて様々な活動等を見て確認して出来ているんだなあと思うのでは。</li> <li>・地域の防災訓練の参加、橋立フェスタでバルなど参加している。</li> <li>・年間の日程が決まっていることは、事業所の体制も整えやすいと思うので、地域に根ざした参加を積極的に出来たらいいのでは。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・はしたてお祭り、はしたてフェスタ、防災訓練への参加を積極的に行う。</li> <li>・地域で開催される催しものがあればお知らせを頂き、ご利用の方と参加をする。</li> <li>・各町ごとのサロンやサークルには事前に日程が確認できるのでご利用者と一緒に参加する。</li> </ul>

<p>E. 運営推進会議を活かした取り組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域で取り組んでいる活動の中で事業所として協力できることがあれば、運営推進会議等で情報を集める。</li> <li>・必要があれば地域の心配な方の事例検討を行う。その際には個人情報に注意しながら意見交換を行うことを心がける。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運営推進会議で頂いた意見はスタッフ会議の場を通して職員に伝え、取り組みに活かせるものに関してはスタッフ間で情報の共有を図った。</li> <li>活動実績にまでは至っていないが係を決めて計画を立て着実に実行できるようにしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・はしたて地区のマッピング作成は防災の意味も含め地区の中にもどのような方がおられるのかを把握するには良かった内容である。それを地域全体でどう取り組むか一緒に考えて行ければ良いと思う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運営推進会議等で頂いたご意見や検討内容等についてはスタッフ会議でスタッフと検討し活動等の実績を運営推進会議で報告をする。報告の際は写真や映像を見て頂きより現実味あるものとして行く。</li> <li>・すぐ取り組めるものは早急に取り組み、困難な項目については時間をかけ前向きに取り組んでいくように努力する。</li> </ul>
<p>F. 事業所の 防災・災害対策</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後も地区の防災訓練には利用者の方と一緒に参加していく。</li> <li>・事業所で行っている防災訓練に近所の方や区長、班長、民生委員の方にも参加していただけるように声を掛け一緒に取り組む。</li> <li>・独自で作成した災害マップを利用し、実際に災害を想定し、利用者の方と一緒に避難してみる。避難訓練から課題を見出し、次の訓練に活かせるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の防災訓練には職員と利用者の方と一緒に参加した。</li> <li>地域の防災訓練に参加し、地域の一員として防災意識を持つことができた。</li> <li>また、参加した職員からどのような防災訓練であったのか情報を共有した。</li> <li>・火災時の警報器については、音量の調整が可能か業者に依頼し確認した。これ以上の大きな音には出来ない。</li> <li>警報器は鳴らすが、警報器にだけ頼らず、どのように近所の方に知らせるか職員で話し合った。</li> <li>・防火管理者を中心に独自の防災訓練のシュミレーションを行なった。</li> <li>まずは、職員が避難場所や避難経路を確実に知っておかないといけないので、防災マップを作り、職員間の情報共有を図った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業所を頼りにするというよりは逆に助けてあげないといけないと思っている。</li> <li>・自然災害（台風、地震、火事、津波、高潮など）様々な災害がある。日中、夜間のスタッフでどれだけの事が出来るのか。区長の判断や地域の協力は必要だと思う。どう協力体制を整えるのか考えないといけない。</li> <li>・消防訓練・避難訓練・消火器訓練は年に2回行っている。地域は参加している。もっと声をかけて参加してもらってもいいのでは。</li> <li>・災害マップは活用されているのか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地区の防災訓練はご利用者と一緒に参加をし、スタッフが地域の方と共に防災意識を高められるように努める。</li> <li>・自然災害等においても地域・近所の方々との常にお互いの協力体制や役割を決めておく。</li> <li>・消防訓練は消防計画に則り、最低でも年2回の避難訓練、消火器訓練、通報訓練等をスタッフ全員が熟知できる実践的な訓練と意識を高める。訓練においては地域の方々にも参加いただき協力体制や役割を持っていただけるようにしていく。</li> </ul>

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 30 年 11 月 15 日 (17 : 45～19 : 30)

1. 初期支援 (はじめのかかわり)

メンバー 田中・岸和田・津田・下崎・道端  
加藤・川村・宮本・小谷・野田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0	4	3	0	7

前回の改善計画	
日々のかかわりの在り方についてはOJTでフォローしていく。また、各スタッフが職場内外に関わらず面接技術やセンター方式、記録の書き方等の研修を受講できるように配慮する。 情報共有の在り方については、日々の記録で重要な点は蛍光ペンでマークすることを改めて徹底する等の工夫をする。	
前回の改善計画に対する取組み結果	
本人や家族の思いについては日々の関わりから把握できていることも多かった。しかし、センター方式や軒下マップの活用や情報を見やすくするなどの工夫が不十分な点も多かった。	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	0	8	1	1	10
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	0	9	1	0	10
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか?	2	6	2	0	10
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	2	6	2	0	10

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
①利用開始前には本人や家族、関係機関等と面接や会議を行い軒下マップやセンター方式を活用する等して情報やニーズの把握に努めている。 ②事業所内においては、全スタッフが情報共有できるよう日々の申し送りや申し送りノートを活用し共有している。支援の実際においては、本人や家族の声に丁寧に耳を傾け、関係性を大切にされたかかわりを心掛けている。 ④軒下マップやセンター方式を活用し本人、家族の不安を見出しスタッフが共有できるよう申し送りノートを確実に確認して特に意識して関わりを持ち安心できる雰囲気を作っている。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
③本人がまだ慣れていない時期として、利用の間もない時期は特に気遣いや配慮が弱くなっている。本人に聞きにくい事や本音をなかなか聞けない事も多い。また、本人、家族からの情報がタイムリーに職員間で共有できていないことがある。 軒下マップとセンター方式を活用しながらも把握した情報を支援につなげられていない場合がある。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
本人との関わりを通して質問的にならないようにさりげなく会話の中から情報を聞き出す技術も必要である。また、家族とのコミュニケーションでも本人のニーズを中心にしながら家族のニーズも引き出していく。情報共有については、申し送り事項 1. 大事な項目 (赤字) 2. 本日の項目 (青字) 3. 継続の項目 (黒字) として把握に努めていく。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 30 年 11 月 15 日 (17 : 45～19 : 30)

2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)

メンバー 田中・岸和田・津田・下崎・道端  
加藤・川村・宮本・小谷・野田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2	2	2	0	6

前回の改善計画	事業所行事等で取り組めることが個別支援につながらないか等を検証し、それでも個別にしか対応できないことは法人全体で協力し合い取り組む。
前回の改善計画に対する取組み結果	カンファレンスでは本人の目標に応じた実行可能なライフサポートプランを立てることを心掛けることができた。また、実行できたことについては振り返りを行い、できていない場合はなぜできなかったか検討することができた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標 (ゴール)」がわかっていますか?	2	5	2	0	9
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	2	7	1	0	10
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?	2	4	3	0	9
④	実践した (かかわった) 内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	2	5	2	0	9

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<p>①本人の目標については、毎月のカンファレンスにおいて目標期間 (3ヶ月) に合わせスタッフと本人、家族の目標を確認している。こちら側や家族の目標になっていないか。本人の今の目標になっているかを確認している。</p> <p>②本人の「～したい」は伝えることできる方や家族からの聞き取りで確認しプランに掲げ実行している。</p> <p>④定期的なカンファレンスや日々のミーティング等で話し合い次の対応に活かしている。</p>	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<p>①②担当している利用者以外について、本人の目標等は把握できているが、具体的な支援方針までは把握できていない場合がある。</p> <p>③事業所全体の行事等が優先され、個別の支援が不十分な場合がある。 健康面や課題に注目するが、これまでの暮らしや今後の望む暮らし等、生活全体へのアプローチが不十分な場合がある。</p> <p>④日々の関わりでその時その瞬間の目標に対応できない事が多かった。</p>	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
<p>本人の目標の把握と個別支援におけるライフサポートプランの内容をきっちりと把握して日々の生活につなげて行く。</p> <p>その時その瞬間の「～したい」の自己実現に対応できるスタッフの意識づけと体制を整える。</p>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 30 年 11 月 15 日 (17:45~19:30)

3. 日常生活の支援

メンバー 田中・岸和田・津田・下崎・道端  
加藤・川村・宮本・小谷・野田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1	0	4	2	7

前回の改善計画
本人の日々の言動からこれまで大切にしてきた暮らしや、その時々をの思いを把握することに加え、家族や地域の方々からも適宜情報収集し、支援に活かす。 そのために、家族との定期面接を持つことや、サロン・サークルに出向くことを予め勤務に組み込む等出来ないか検討する。特にサロン・サークル等は「訪問」による支援が多い時間帯であり、どのように参加できるようにするかは、法人全体の課題として検討する。
前回の改善計画に対する取組み結果
家族とゆっくり話す機会が持てていない。 サロン等に行く機会が持てておらず、地域の方から情報が得られていない。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?	0	0	9	0	9
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	3	6	0	0	9
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	1	5	3	0	9
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	5	4	0	0	9
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	4	3	3	0	9

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
②本人の思いや体調の変化等について、日々の関わりの中で本人の言葉や表情、行動から得る些細な気づきをミーティングやカンファレンスで共有し検討している。本人の状況に合わせた柔軟な支援を心掛けている。	
④本人の体調についてはちょっとした変化がある時は直ぐに他のスタッフと確認し管理者もしくはナースに確認を行ない速やかに対応している。気持ちの変化についてもすぐに寄り添い訴えに丁寧に耳を傾けている。	
⑤即時的に対応は行っている場面は多い。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
①自宅での生活環境を理解するための「以前の暮らし方」が10個以上把握は出来ていない。しかし、ポイントを押さえた理解はみんなと共有をして整えている。また、本人の日常生活やこれまでの背景をすぐに理解することは難しいが、少しずつ情報を得ていくようには心がけている。情報が以前のままになっていて情報の更新になっていない事が多い。	
日々のスタッフの体制のため、サロンへの参加が行えていない。	
③なかなか自ら表出できない方の声やニーズを把握しているのかと言えばそうではない。しかし、様々な情報をアセスメントして、そうであろうと予測して活動を支援している。	
⑤スタッフの体制や他の方の対応をしていて即時的に対応できない場面もある。その時でもこういう理由で今は出来ないが後で必ずできるということを伝え約束をして行う。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
家族との定期的な(1~3ヶ月に1回)お話しをする時間をつくり、本人のニーズを中心とした話の中で家族が抱えているニーズと課題を一緒に考えていく。	
本人のニーズにおいて、「その日、その時、その瞬間」の状況に対応できる体制や工夫が難しい。よりタイムリーに対応できるようスタッフ自身の意識を高める努力をする。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	平成 30 年 11 月 15 日 (17 : 45～19 : 30)
4. 地域での暮らしの支援	メンバー	田中・岸和田・津田・下崎・道端 加藤・川村・宮本・小谷・野田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0	1	4	1	6

前回の改善計画	十分に把握できていないと思われる利用者をリストアップし、意識して本人や家族、地域の方との交流から把握に努める。その際は本人とスタッフとの関係性や、本人と家族、本人と地域の方々との関係性を十分考慮し、本人の意向を無視した一方的な情報収集にならないよう十分留意する。
前回の改善計画に対する取組み結果	ライフサポートワークや軒下マップを活用し把握に努めた。事業所が直接接していない時間については、送迎時等に少しでも家族の方等に話を伺い把握することに努めた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	0	5	5	0	10
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	0	7	2	0	9
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?	0	3	6	0	9
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?	0	2	6	2	10

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<p>①本人の生活スタイルや人、場とのつながりについては、ライフサポートワークや軒下マップを活用し把握に努め理解をしている。</p> <p>③事業所が直接接していない時間については、送迎時等に少しでも家族の方等に話を伺い把握することに努めている。</p> <p>②④地域の行事にはなるべく本人と積極的に参加し、そこで出会うの方々との交流からつながりを把握することがある。</p>	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<p>④本人の持つ地域資源の把握には努めているものの、十分に把握できていない利用者の方もいる。特に「通い」中心の方の把握が不十分な場合がある。</p> <p>圏域外の民生委員の把握や地域資源の把握ができていない場合が多い。</p> <p>軒下マップの情報がそのままになっており、古い情報のままになっているため更新が必要である。</p>	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
<p>軒下マップを活用し、意識して本人や家族、地域の方との交流から把握に努める。その際は本人とスタッフとの関係性や、本人と家族、本人と地域の方々との関係性を十分考慮し、本人の意向を尊重し一方的な情報収集にならないよう十分留意する。</p>	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	平成 30 年 11 月 15 日 (17:45~19:30)
5. 多機能性ある柔軟な支援	メンバー	田中・岸和田・津田・下崎・道端 加藤・川村・宮本・小谷・野田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1	3	2	1	7

前回の改善計画	本人や家族の要請について、まずはニーズを的確に捉え、本当に必要な支援が何かを検討する必要がある。そのためにはチームでの話し合いが不可欠である。定例のカンファレンスに加え、管理者、ケアマネ、法人ソーシャルワーカーでのミーティングを定期で開催し、出来る限りタイムリーで多角的に支援方針を検討できるようにする。
前回の改善計画に対する取組み結果	日々の支援においては、ドライブや散歩、自宅へ行くことなど、その時その瞬間に対応ができるよう心掛けているが、実際には要望に応えることができないこともある。 本人と家族の思いについては、本人の思いに寄り添うことを大前提にしながら、家族の介護疲れや心理的な支えになることにも努め、本人の望む暮らしに向けて家族もチームの一員として応援してもらえる関係づくりに努めた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	1	7	1	0	9
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	3	6	1	0	10
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか?	2	6	1	0	9
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	3	4	3	0	10

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
①事業所の暦行事や月参り、手芸サークル等、老人会の方や地域のボランティア等の方々に協力いただきながら実施している。 ②本人の状態やニーズに応じた支援については、急な「通い」や「宿泊」にも出来る限り柔軟に対応できるようスタッフ間で相談し対応している。それでも定員の関係等で要請に応えられない場合でも、他の支援で対応できないか検討し、本人や家族が安心できるような対応に努めている。 ③本人の変化については直ぐに気づき速やかに対応が出来る。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
②「通い」「訪問」「宿泊」が本人の思いよりも家族の思いが優先される場合もある。 ④日々の支援において、その日・その時・その瞬間の本人のニーズには、スタッフの体制やその時の状態によりなかなか対応が難しく対応できていない。その日のスタッフの体制が整えばドライブや散歩などのニーズに応じた対応は行えている。その瞬間というタイムリーな対応ができるよう心掛けているが、実際には要望に応えることができないことも多くある。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
在宅での本人の暮らしを支えるためには、家族のニーズや課題も把握し家族が何が出来て何が出来ないのかを整理する。ライフサポートプランを考えていく上で具体的に家族の役割やその他の社会資源の活用を考える。	



事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 30 年 11 月 15 日 (17 : 45～19 : 30)

6. 連携・協働

メンバー 田中・岸和田・津田・下崎・道端  
加藤・川村・宮本・小谷・野田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1	3	1	1	6

前回の改善計画	地域のイベントやランチの連絡会等により多くのスタッフが出向くことができるよう、予め勤務に組み込む等出来ないか検討する。
前回の改善計画に対する取組み結果	地域の活動やイベント、各種会議への参加が特定のスタッフに限られているが、できる限り積極的な参加が出来た。 勤務表にあらかじめ予定はしているものの、急な利用者状況でのスタッフ体制の変更等により参加ができない場面も多くあった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	その他のサービス機関 (医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所) との会議を行っていますか?	0	2	3	4	9
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか?	2	1	2	5	10
③	地域の各種機関・団体 (自治会、町内会、婦人会、消防団等) の活動やイベントに参加していますか?	2	4	1	2	9
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか?	2	6	2	0	10

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<p>①必要に応じて、他のサービス機関や包括との連絡会、町内の行事等に参加し、お互いに協力し合える関係づくりに努めている。</p> <p>③事業所の行事 (月参り、おでんの会、手芸サークル等) を通して、子どもも含めた地域の方やサービス機関の方が気軽に事業所に訪れてくれるようになってきている。</p> <p>④地域の子どもの通学の途中でトイレを借りに来たり、流しそうめんやハロウィン、クリスマス会のイベントに訪問してくれ、事業所が地域の一員として認識していただいている。</p>	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<p>③地域の活動やイベント、各種会議への参加が特定のスタッフに限られている。</p> <p>②自治体や地域包括との会議や連絡会は特定のスタッフとなっているが、少しずつ他のスタッフも参加できるように心がけて勤務表を作成している。</p>	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
<p>地域のイベントやランチの連絡会等に多くのスタッフが出向くことができるよう、勤務表にあらかじめ組み込むようにし、スタッフ自身が参加する意義をきっちりと理解して積極的に行えるよう努めていく。</p>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 30 年 11 月 15 日 (17 : 45～19 : 30)

7. 運営

メンバー 田中・岸和田・津田・下崎・道端  
加藤・川村・宮本・小谷・野田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1	3	3	0	7

前回の改善計画	苦情を受け付けた場合は、「苦情・相談受付シート (仮称)」を活用し、事業所全体で振り返りを行う。
前回の改善計画に対する取組み結果	毎月のスタッフ会議で、苦情やアクシデント等の話し合う時間を作り対処法や今後の取組等について話し合えた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができていますか?	2	4	4	0	10
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	3	5	2	0	10
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	3	6	1	0	10
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?	2	6	2	0	10

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<p>①スタッフ会議やカンファレンス、ミーティング等でスタッフは、利用者や家族のニーズや課題の意見をはっきりと伝えることができる。</p> <p>②日々の関わりで得られる利用者や家族の意見、運営推進会議等を通して把握できる地域の方の声は真摯に受け止め、事業所の質の向上に活かせるよう努めている。</p> <p>苦情やアクシデント等は毎月のスタッフ会議で検討し今後のあり方について話し合いをしリスクマネジメントに努めている。</p> <p>③地域からの意見や苦情はその日その時に速やかに確認してすぐに対応している。</p> <p>④地域の方々に協力を頂いている「手芸サークル」は月に 1 回行い、また「おでんの会」も月 1 回の開催をしている。暦のイベントでも長寿会、子供会、学童等にお声かけし沢山の方々にお越しいただき交流をはかっている。</p>	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<p>①良い意見を持っているのに上手く伝えられないスタッフもいる。</p>	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
<p>毎月定期的にスタッフ会議やカンファレンス、またはその都度のミーティングを継続的に行い、苦情やアクシデント等の振り返りとリスクマネジメントの話し合いを重ねていく。</p>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 30 年 11 月 15 日 (17 : 45～19 : 30)

8. 質を向上するための取組み

メンバー 田中・岸和田・津田・下崎・道端  
加藤・川村・宮本・小谷・野田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1	2	3	0	6

前回の改善計画	法人全体としては人材育成の仕組みを見直しているところであり、引き続き、一人ひとりがキャリアに応じて必要な研修が受けられるようにしていく。
前回の改善計画に対する取組み結果	事業所内研修にはできるだけ多くのスタッフが参加できた。 また、レベルに応じたスキルアップのための研修にも積極的に参加が出来た。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	研修 (職場内・職場外) を実施・参加していますか	1	5	3	0	9
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	2	3	2	2	9
③	地域連絡会に参加していますか	1	2	2	5	10
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	0	7	1	1	9

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<p>①研修は経験年数など考慮して順番に受けている。また、法人内では学習会を年間計画し毎月行っている。</p> <p>②本当に必要なスキルアップのための研修は積極的に参加している。</p> <p>④アクシデントがあった場合は速やかに法人本部と家族に報告し、振り返りを行い再発防止に努めている。</p>	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<p>②資格取得のための研修には参加できていない。</p> <p>③小規模多機能型居宅介護事業所連絡会には管理者以外参加は出来ていない。 ランチ連絡会へは責任者や管理者以外参加は出来ていない。 夜勤や遅番などで法人内での学習会に参加がどうしても出来ない。また、家庭の都合 (子供が小さい) でも参加が難しい状況もある。参加できない事に関してはどのように後ほど伝えていくか法人内でも課題である。ただ、「認知症の正しい理解」「共友会の理念とかかわりの原則」は後日、参加できなかったスタッフを日勤帯で合わせて別の日を設けて行った。</p>	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
<p>法人内研修 (学習会等) について出来る限り参加できる勤務体制を整える。参加できないスタッフはスタッフ会議等できっちり伝えられる体制を整えていく。</p> <p>リスクマネジメントについては、スタッフ会議ではアクシデント等による振り返りと今後の解決方法を考え、カンファレンスでは利用者個人のリスクマネジメントについてライフサポートプランにも連動させていけるのではと考えていきたい。</p>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 30 年 11 月 15 日 (17 : 45～19 : 30)

9. 人権・プライバシー

メンバー 田中・岸和田・津田・下崎・道端  
加藤・川村・宮本・小谷・野田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	3	2	2	0	7

前回の改善計画	<p>権利擁護の意識を保つために、日々、気になった対応についてスタッフ同士で話し合い、お互いの研さんに役立てる。また、研修等において改めて権利侵害になっている行為がないか振り返る機会を持つ。</p> <p>日々の記録については、広げたままになっていた場合は、気づいたスタッフが片付ける等、スタッフ間で協力し合い、個人情報保護を徹底する。</p>
前回の改善計画に対する取組み結果	<p>権利擁護については、法人での理念に基づき各スタッフは意識を持ち常に心掛けている。日々の関わりにおいても他のスタッフと互いに確認し合ったり、ミーティング等をして十分な注意をし高い意識を持っている。</p>

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	身体拘束をしていない	8	2	0	0	10
②	虐待は行われていない	9	1	0	0	10
③	プライバシーが守られている	4	5	1	0	10
④	必要な方に成年後見制度を活用している	0	0	1	6	8
⑤	適正な個人情報の管理ができている	4	5	1	0	10

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<p>①②権利擁護の視点を持ち、日々の関わりにおいて、虐待や身体拘束にあたる行為を自分たちがしていないか確認している。法人内研修において、「権利擁護・虐待について」の研修を行い「虐待では？」と自分たちが感じる事例を出し合い、話し合いの機会を持つことで、権利侵害をしない実践ができる視点を養っている。</p>	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<p>③プライバシーについては、申し送り等で、大きな声で話してしまい、配慮が不十分な場合がある。</p> <p>トイレやお風呂など確認をせずについつい戸を開けてしまう場面がありスタッフの意識が欠けている。</p> <p>④日々の記録が他の利用者の目に入るところに広げたままになっていることがある。</p>	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
<p>権利擁護についてはスタッフの意識を高め維持させることが大事である。日々、気になった対応についてスタッフ同士で話し合い、十分に注意をしないといけない。</p> <p>研修等において改めて権利侵害になっている行為がないか振り返る機会を持つ。</p> <p>日々の記録については、広げたままになっていた場合は、気づいたスタッフが片付ける等、スタッフ間で協力し合い個人情報保護を徹底する。</p> <p>利用者のプライバシーについても日頃からのスタッフの意識を高く持ち常に丁寧な関りをスタッフ同士が確認しながらお互いに指摘し合える雰囲気を作る。</p>	